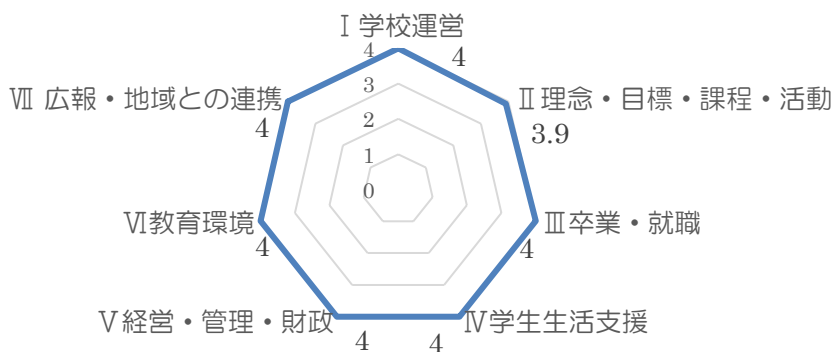


岡山済生会看護専門学校 学校関係者評価（令和7年度）

令和7年3月26日

学校関係者評価 委員長 奥井 恵美子（大阪済生会看護専門学校 前副校長）  
 委員 槌田 洋子（岡山済生会看護専門学校 同窓会会長）  
 岡崎 直子（岡山済生会総合病院 看護部長）  
 井上 実玖（岡山済生会看護専門学校 令和3年度卒業生）

学校関係者評価 7領域31項目の結果 評価基準 満たしている 4 1改善すべきである



カテゴリー	評価点	概要
I 学校運営	4	<p>【組織運営とチーム対応の評価】</p> <p>社会情勢を踏まえ組織目標を全職員で策定し、個々の目標と連動させて役割を遂行する体制が整っている。年2回の評価サイクルも定着しており、PDCAが機能している。特に今年度は、専門分野の担当教務不在という不足の事態に対し、教務が協力し合い交代でフォローするなど高い組織力を発揮した。学生からの評価も「4.7」と高評価だった。危機的な状況の際も教育の質を維持したことは、今後の学校運営におけるプラスの経験に繋がると評価した。</p>
II 教育理念・目標・教育課程・教育活動	3.9	<p>【教育課程と学習支援の取り組み】</p> <p>教育目標を各教室に掲示して、学生が「現在の学びと目標のつながり」を常に意識できる環境づくりに取り組んでいる。国家試験全員合格を目指し、低学年から個々の学生に寄り添った「伴奏型」の支援を行っている点は強みである。一方、学習習慣の定着に課題のある学生に対しては、今後も継続的な取り組みが必要。さらなる創意工夫と実効性のある対応策を期待する。</p> <p>【指導体制と学生満足度の向上】</p>
III 卒業・就職	4	<p>外部講師を含む授業評価を徹底し、その9割が高い評価を得ていることは学生の学習意欲向上に直結していると思われる。また、学生満足度調査を通じて学生の意見を真摯に把握・反映しようとする姿勢も高く評価しており、今後も継続していただきたい。</p>
IV 学生生活支援	4	<p>【地域連携と将来展望】</p> <p>「済生会フェア」への参加など、地域住民や子どもたちとの積極的な交流は、地域と学生双方に好影響を与えている。こうした活動は、看護教育への理解を深め、看護学校の将来の発展に寄与する。</p> <p>総じて、各分野で高評価を示しており、教員全員が一丸となって学生の成長と地域貢献に取り組んでいる。次年度もさらなる発展を期待する。</p>
V 経営・管理・財政	4	
VI 教育環境	4	
VII 広報・地域との連携	4	